

## 子どもの生きる力を育む「褒める時」と「叱る時」

校長 須藤 敏之

窓を開けると爽やかなそよ風が吹き抜け、涼しく過ごしやすい季節がやってきました。

10月19日の学校公開・道徳授業地区公開講座では、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。6月の時と比べて子どもたちと教員の様子はいかがでしたでしょうか。(最良目ですが)、どの学年のクラスも6月に比べて落ち着いて、集中して学習に取り組む子どもの姿や、笑顔で授業をする教師の姿がご覧いただけたことと思います。全力で取り組んだ運動会以降、子どもたちと教員たちの絆が深まり、程良い距離感が築かれたように感じています。とはいえ、まだ課題はありますので、皆様からのアンケートを踏まえ、さらに改善してまいります。

～「3時間目には体育館で、千代田区心の教育コーディネーターの後藤忠先生による、保護者の方々向けの講演会がありました。その講演の中で、良い子を育てるためには、『子どもが褒めてほしい時に褒め、叱ってほしい時に叱ることができる大人になる。叱られないで育った子どもは、褒められないで育った子どもと同じくらい不幸である。』というお話がありました。また、後藤先生は『最近の先生は、褒めることはできても叱ることができない人が増えてきて残念です。』とも話されていました。皆さんの先生たちはどうでしょうか？良いことをした時や頑張った時に褒めてくれますか？逆に、悪いことをした時には真剣に叱ってくれますか？(頷く子が多くいました。)そうですね。良いことをした時や頑張った時は褒めてくれるし、ルールを破ったり悪いことをしたりした時は真剣に叱ってくれますよね。真剣に叱るのは、その人が嫌いだから叱るのではありません。良い子になってほしい、成長してほしいという思いがあるから真剣に叱るのです。君たちを信じ、君たちのことを思っていなければ、真剣に叱ったり注意したりしません。放っておきます。でも、叱られるのはやっぱり嫌ですよね。そんな時は、素直にごめんなさいと言って、同じことを繰り返さないように努力していけばよいのです。それが、皆さんの成長に必ずつながります。』～

これは、学校公開後の10月21日、全校朝会で私が話した内容の一部です。子どもたちも教員も、この話はよく聞いてくれていました。講演を覚えていらっしゃる保護者の方も多いことと思います。

私が教員になって、子どもの指導で最も苦心したことの一つは、この「叱ってほしい時(人を傷つけた時や、いけないことをしたと子ども自身が気付いている時)に叱る」ことでした。真剣に叱るためには勇気が要りますし、その子どもとの人間関係が崩れないか深く悩みます。でも、教員経験を積むにつれ、その子どもの先のこと(未来)を考え、できる限り公正かつその子に響く叱り方で叱るようにしてきました。その子どもは反省し、時間を要したとしても、同じことを繰り返さないようになりました。その時が「褒めてほしい時」と捉え、すかさず褒めたことも多々あります。信頼関係を築くきっかけにもなりました。全てが上手くいくとは限りませんが、生きる力を育む大事な指導だと考えます。

これからも、「子どもが褒めてほしい時に褒め、叱ってほしい時に叱ること」を心掛け、子ども共に、私たち教職員も成長してまいります。11月も、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 11月の目標

生活	相手のことを考えて行動しよう
保健	かぜに負けない体をつくろう
給食	感謝して食べよう

< 1 1 月 行 事 予 定 >

1	金	B	
2	土		
3	日		文化の日
4	月		振替休日
5	火	A	全校朝会 避難訓練
6	水	B	区一斉清掃日
7	木	A	安全指導日 音楽会前日準備(6年)
8	金	B	音楽会(児童鑑賞日)
9	土	B	音楽会(保護者鑑賞日)
10	日		
11	月		音楽会振替休業日
12	火	A	全校朝会 音楽会片付け(5年)
13	水	B	
14	木	A	体育朝会(中) クラブ活動 卒業アルバム撮影
15	金	B	社会科見学(3年)
16	土		
17	日		
18	月	A	全校朝会
19	火	A	体育朝会(低) 連合音楽会(4年)
20	水	B	ことばの教室発表会
21	木	A	児童集会 狂言(5・6年)
22	金	B	生活科見学(1年) 幼小交流(5年)
23	土		勤労感謝の日
24	日		
25	月	A	全校朝会
26	火	A	
27	水	B	
28	木	A	体育朝会(高) クラブ活動
29	金	B	社会科見学(4年)
30	土		

校庭開放なし

多くの行事を経験して

5年担任

2学期がスタートしてこれまで、運動会、孀恋自然体験交流教室、幼稚園との交流などたくさんの行事を経験しました。運動会では、「5年生だけでなく6年生とも息を合わせ、高学年としての姿を見せたい」。孀恋自然体験交流教室では、「孀恋の自然を感じたり、誰とでも積極的に関わったり、自分から考えて行動したい」という目標をそれぞれもちながら一生懸命活動しました。

運動会での姿は、緊張しながらも一人一人が真剣な顔付きで、千代田小学校の高学年に相応しい姿でした。担任一同、子どもたちの大きな成長に喜びを感じました。

孀恋自然体験交流教室では、小学校生活で2回目の宿泊行事でしたが、今回の宿泊は前回よりも「自分たちで考え、作り上げる」ことに力を入れて取り組みました。自分たちで作上げたからこそ子どもたちの達成感は大きなものでした。

苦勞しながらも最後まで成し遂げる達成感や自分たちで作上げていく楽しさを味わってもらえるよう、これからも支援していきます。

道徳授業地区公開講座について

道徳担当

10月19日(土)の学校公開・道徳授業地区公開講座へは、多数の保護者の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

今年度の道徳授業のテーマは「人のかかわりに関すること」とし、各学級で授業をいたしました。子どもたちは毎日の生活の中で、家族や友達、教職員、地域の方々などたくさんの人と関わる機会があります。その中でよりよい関係を築くにはどのようなことが大切かをそれぞれが真剣に考えました。

心の教育コーディネーターの後藤忠先生のご講演では、子どもをほめることは大切だが、それと同じくらい叱ることも大切であること。そしてその根底には、子どもに対する深い愛情がなければならないこととお話いただきました。